

厚生委員コーナー 7月号

覚えておこう応急処置

～きずの手当て～



<すりきずの手当て>

- ① きず口を水道水でしっかり洗う。
※砂や泥をきれいにならして落としましょう。
- ② 血が出ていたら押さえて止める。
- ③ はんそうこうやほうたいできず口をおおう

<きりきずの手当て>

- ① きず口を水道水でしっかり洗う。
- ② 血が出ていたら押さえて止める。
※ガーゼやハンカチでしっかり押さえる(10～20分)
- ③ きってほれた部分を「はんそうこうで」

くっつける

※離れたひふがくっつくように
はんそうこうをほります

① 刺し傷の手当て

- ① 刺さったものを抜き取る
まわりの皮膚を押しつけて浮き上げると取りやすくなりますが、無理な場合は毛抜きを使います。
- ② 血が出るときはそのままに
血と一緒にゴミやばい菌も流れ出るので、いぼりくそのままにします。
- ③ 取れない場合は病院へ。
取れない場合は、無理に取らずに「ガーゼ」などで「覆い」病院で「取」てもらいましょう。

① 加う又片が刺さった

- ① 刺さったものは抜かないようにしましょう。
無理に引き抜くと、出血したり神経や血管を傷つけたりすることがあります。
- ② 出血していたら、清潔な「ガーゼ」や「ハンカチ」で止血します。
- ③ 刺さったものを清潔な布などで「挟んで」固定します。
刺さったものが固定されるため、竹刺しの進行を止めます。
※傷口が下まわりの、血が止まらなくなったりするときには急いで病院に行きましょう。

